

Patient Information

赤字で示した箇所の明記が必須です。

症例番号	1	性別	女性
検者	XX	年齢	XX 歳
手術日	##年 ##月 ##日	手術部位、手術レベル	胸椎、Th9-11
診断	胸椎黄色靭帯骨化症	術式（手術方法）	椎弓切除
麻酔方法	XX		

※以下の項目は、脊椎脊髄手術で経頭蓋電気刺激—運動誘発電位（Tc-MEP）モニタリング施行例のみ記載してください

Tc-MEP 増幅法 (該当する方法に○)	増幅法なし double train法	multi-train法 tetanus刺激法	TOF値 (モニタリング開始時)	
--------------------------	------------------------	----------------------------	---------------------	--

Comment	<p><u>記録電位</u> Tc-MEP</p> <p><u>刺激部位（刺激電極設置部位）・刺激強度</u> Czより前方2cm、側方（左右）5cm、刺激強度 150~170mA</p> <p>脳外科手術でMEPモニタリング施行例では刺激強度を設定した根拠を記載してください。また、電流値(intensity)だけでなく、刺激幅(duration)と使用した電極を記載してください。</p> <p><u>記録電極設置部位（モニタージュ）</u> MEP: 上肢：短拇指外転筋(右) 下肢：前脛骨筋（左右）、母趾外転筋（左右）</p> <p><u>MMT<3の記録筋</u> 特になし</p> <p>脊椎脊髄手術でTc-MEPモニタリング施行例では、MEP記録筋でMMT3未満(MMT1かMMT2)の筋を記載してください。（両前脛骨筋、右大腿四頭筋、など）</p> <p><u>所見</u> 除圧中、コントロールMEPやTc-MEPの振幅低下は認めなかった。</p> <p><u>判定</u>（電位低下症例では、低下時にどのようなレスキュー対応をしたか記載してください） True negative症例</p>
---------	--

次ページにモニタリング波形を貼付してください。

- 被検筋、スケールが記載された記録を提出するか、余白に明記してください。
- 提示する波形はスケールアウトしないよう、また、小さすぎないようにサイズを調整し、個々の波形が判別できるように波形の間隔を調整してください。
- 少なくともベースライン波形、手術終了時の波形、あるいは波形の変化があった波形を提示してください。
- Tc-MEPモニタリングを施行した症例では、コントロールMEPも提示してください。コントロールMEPの記録筋も記入してください。

※ベースライン波形：侵襲的操作前に手術操作により影響を受ける可能性がある基準となるモニタリング波形。

※コントロールMEP：Tc-MEPモニタリング中に、対象筋となるベースライン波形に変化があった場合、その変化が有意かどうか判定する際に参考とするモニタリング筋のMEP波形。

申請者の署名（印字可）が必要です。

Signature ○×△□

Patient Information

モニタリング波形 貼付(添付)

コントロールMEP

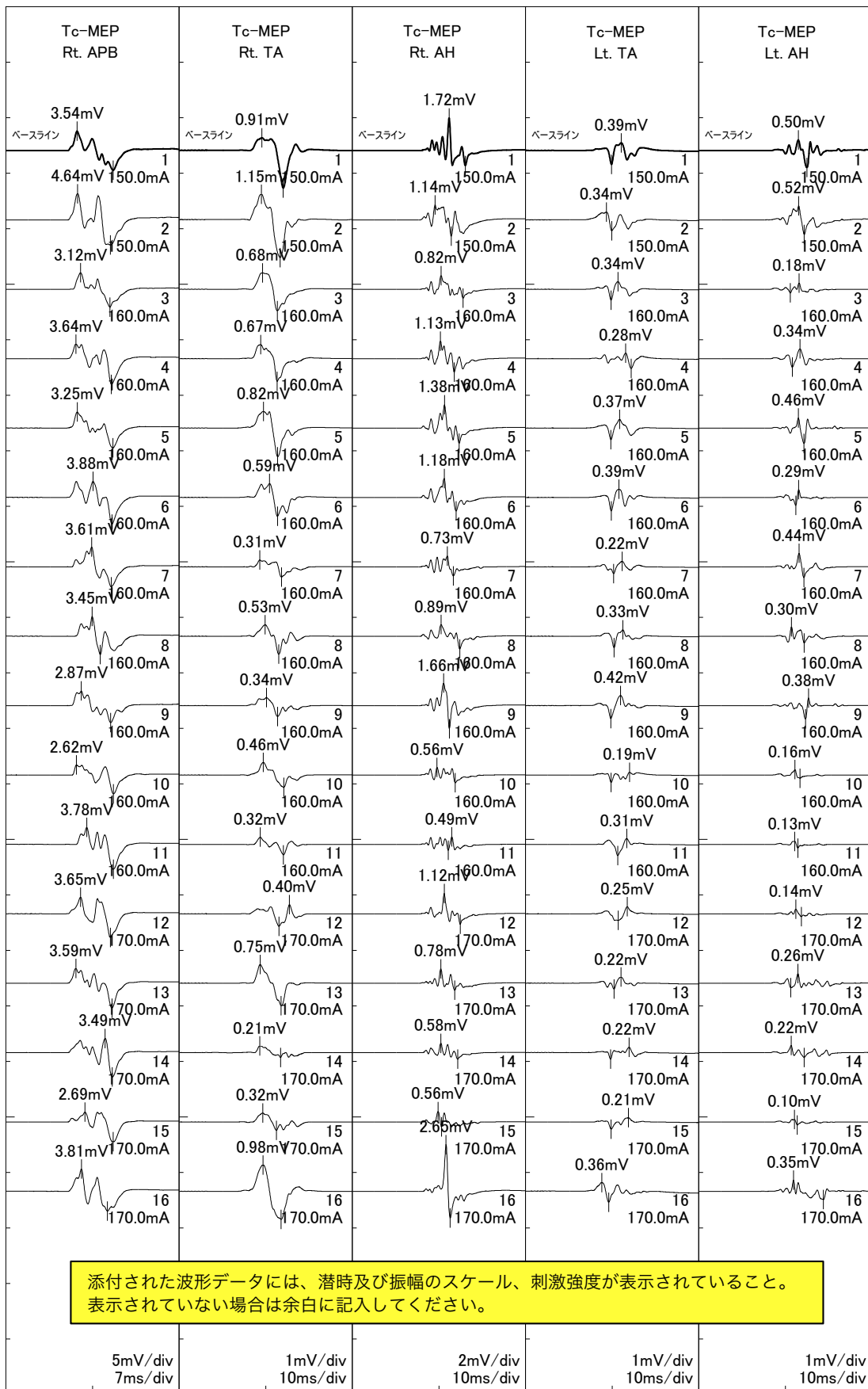
経頭蓋電気刺激—運動誘発電位 (Tc-MEP) モニタリングを施行した症例では、コントロールMEPも提示してください。コントロールMEPの記録筋も記入してください。

ベースライン
(除圧開始前)

除圧中

除圧終了時

手術終了時



Patient Information

赤字で示した箇所の明記が必須です。

症例番号	2	性別	女性
検者	XX	年齢	XX 歳
手術日	##年 ##月 ##日	手術部位、手術レベル	頸椎
診断	頸椎症性脊髄症	術式（手術方法）	C3-7椎弓形成術
麻酔方法	XXX		

※以下の項目は、脊椎脊髄手術で経頭蓋電気刺激—運動誘発電位（Tc-MEP）モニタリング施行例のみ記載してください

Tc-MEP 増幅法 (該当する方法に○)	増幅法なし double train法	multi-train法 tetanus刺激法	TOF値 (モニタリング開始時)	100%
--------------------------	------------------------	----------------------------	---------------------	------

Comment

記録電位

Tc-MEP

刺激部位（刺激電極設置部位）・刺激強度

コークスクリー型電極をCzより前方2cm、側方（左右）5cmに設置
刺激幅0.5ms、刺激強度200mA

脳外科手術でMEPモニタリング施行例では刺激強度を設定した根拠を記載してください。また、電流値(intensity)だけでなく、刺激幅(duration)と使用した電極を記載してください。

記録電極設置部位（モンタージュ）

MEP: 上肢：両側僧帽筋（コントロール筋）三角筋、短母指外転筋
下肢：両側母趾外転筋

MMT<3の記録筋 特になし

脊椎脊髄手術でTc-MEPモニタリング施行例では、MEP記録筋でMMT3未満(MMT1かMMT2)の筋を記載してください。（両前脛骨筋、右大腿四頭筋、など）

所見

右AHの振幅が一時的に増大したが全筋でベースラインに比べTc-MEPの振幅低下は認めなかった。

判定（電位低下症例では、低下時にどのようなレスキュー対応をしたか記載してください）

True negative症例

次ページにモニタリング波形を貼付してください。

- 被検筋、スケールが記載された記録を提出するか、余白に明記してください。
- 提示する波形はスケールアウトしないよう、また、小さすぎないようにサイズを調整し、個々の波形が判別できるように波形の間隔を調整してください。
- 少なくともベースライン波形、手術終了時の波形、あるいは波形の変化があった波形を提示してください。
- Tc-MEPモニタリングを施行した症例では、コントロールMEPも提示してください。コントロールMEPの記録筋も記入してください。

※ベースライン波形：侵襲的操作前に手術操作により影響を受ける可能性がある基準となるモニタリング波形。※コントロールMEP：Tc-MEPモニタリング中に、対象筋となるベースライン波形に変化があった場合、その変化が有意かどうか判定する際に参考とするモニタリング筋のMEP波形。

申請者の署名（印字可）が必要です。

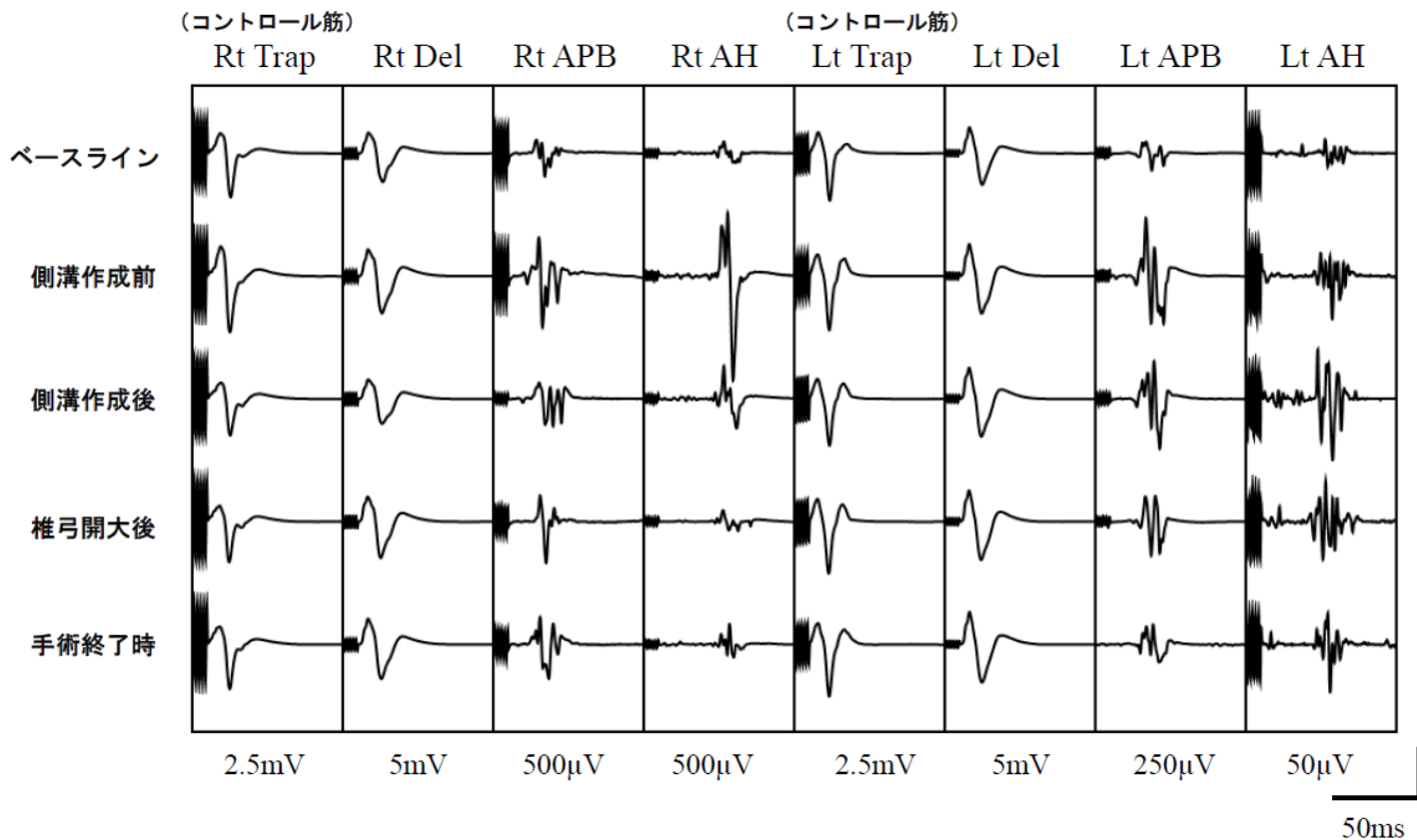
Signature ○×△□

Patient Information

モニタリング波形 貼付(添付)

経頭蓋電気刺激—運動誘発電位 (Tc-MEP) モニタリングを施行した症例では、コントロールMEPも提示してください。コントロールMEPの記録筋も記入してください。

Tc-MEP (刺激強度200mA)



添付された波形データには、潜時及び振幅のスケール、刺激強度が表示されていること。表示されていない場合は余白に記入してください。